

クリーンエネルギーみやぎ創造プランについて

新たな産業集積と地球温暖化対策の両立を図りながら、真に豊かな「富県宮城」の実現を目指す取組

現状・課題

- 地球温暖化対策は、全世界でこれまで以上に取り組まなければならない喫緊の課題。
- 世界的にクリーンエネルギーの利活用の促進、環境関連産業や技術開発を振興・支援する政策が次々に実施へ。
- 本県では、いち早く「環境立県みやぎ」を宣言し、官民を挙げて実践活動や県民運動を展開してきているが、さらに積極的な地球温暖化対策が必要。
- 一方、近年本県では、自動車関連産業や高度電子機械産業等のものづくり産業（製造業）の大型立地が進み、これを契機として新たな産業集積に向けた条件整備が加速。
- 真に豊かな「富県宮城」の実現のため、経済・社会の持続的発展と環境保全の両立が必須課題。本県としても直ちに行動を起こす好機。

取組の視点

視点1

自動車関連産業や高度電子機械産業等の集積が進んできている今だからこそ、この機会を逃さず、さらに本県のものづくり産業（製造業）の基盤を強化し、広げていくための取組が必要である。

取組1

クリーンエネルギー関連産業集積
“加速化”プラン

視点2

官民・地域を挙げて、太陽光発電等クリーンエネルギーの利活用を一層促進し、本県として地球温暖化対策にさらに積極的に取り組む必要がある。

取組2

クリーンエネルギー利活用促進
“倍速化”プラン

視点4

次世代が、クリーンエネルギー社会を着実に担っていけるよう、必要となる環境教育や人材育成がしっかり行われる仕組みづくりをしていく必要がある。”

取組4

クリーンエネルギー社会の未来を育む
“架け橋”プラン

視点3

クリーンエネルギーの利活用方法をさらに開拓していくため、産学官の連携・協働等により、率先して先導的な取組に挑戦していく必要がある。

取組3

クリーンエネルギー社会の明日を開拓する
“先駆け”プラン

目指す姿

- 将来性が大きく期待される「クリーンエネルギー関連産業」の集積及び振興により、本県産業基盤を強化。
 - 県、県民、県内企業、地域が一丸となり、太陽光発電等クリーンエネルギーの積極的利活用により、地球温暖化対策の取組をリード。
 - 先導的プロジェクトに取り組み、クリーンエネルギーの利活用促進等に資する実証や成果を創出し、クリーンエネルギー社会の実現に貢献。
 - クリーンエネルギー社会が明るく輝かしい未来であるため、本県から、次代を担う人材輩出や挑戦が、次々起こり広がる仕組みを構築。
- ※クリーンエネルギー関連産業の集積促進や利活用の推進に県を挙げて取り組むことにより、環境と経済が両立した、真に豊かな地域社会をつくる。

クリーンエネルギーみやぎ創造プラン

「クリーンエネルギーみやぎ創造プラン」の県の施策上の位置づけ

「富城の将来ビジョン」(H19年3月策定) = “富県共創！活力とやすらぎの邦づくり”

→第1節 富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～
 →1 育成・誘致による県内製造業の集積促進
 → **取組 1 地域経済を力強くけん引するものづくり産業(製造業)の振興**

→第3節 人と自然が調和した美しく安全な県土づくり
 →1 経済・社会の持続的発展と環境保全の両立
 → **取組27 環境に配慮した社会経済システムの構築と地球環境保全への貢献**

※1 本プランの県の施策上の位置づけは、この「取組1」と「取組27」を具現化するための、主として「クリーンエネルギー」に的を絞った、産業集積及び利活用促進を目指すための、県自らの“アクションプラン”。

※2 本プランに基づく県の実行動及び施策展開は、平成21年7月から概ね3年程度を見込み。

クリーンエネルギーみやぎ創造プラン

新たな産業集積と地球温暖化対策の両立を図りながら、真に豊かな「富県宮城」の実現を目指す取組

(～クリーンエネルギー関連の産業集積や利活用のより一層の促進・推進のために、川上から川下までを視野に入れて、県を挙げて取り組む緊急行動計画～)

取組1 クリーンエネルギー 関連産業集積 “加速化”プラン

- ◆産業集積を“促進する”
本県のものづくり産業を力強くけん引する企業を積極的に誘致し、新たな産業集積を促進。
- ◆ビジネスを“振興する”
技術開発、取引拡大、人材育成等の積極支援によって、本県における環境関連産業・ビジネスをより一層振興。

- 「クリーンエネルギー関連企業誘致プロジェクト」
- 「メガソーラー創設加速化プロジェクト」
- 「エネルギーデバイス関連製品取引拡大プロジェクト」
- 「宮城発「クリーンエネルギー製品」スタートアップ支援プロジェクト」
- 「環境産業振興セミナー、商談会等の実施」
- 「太陽光パネル設置人材の養成」
- 「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」プロジェクト

取組2 クリーンエネルギー利活用促進 “倍速化”プラン

- ◆県自らが率先して“行動する”
公用車や県有施設等の省エネ・エコ化に向けて、県自らが率先して行動。
- ◆県民の率先行動を“応援する”
県民のハイブリッド車や太陽光発電等の購入・導入等を積極的に応援。
- ◆企業の率先行動を“支援する”
県内事業所等におけるクリーンエネルギーの利活用や設備導入等を積極的に支援。
- ◆地域の率先行動と“協働する”
圏域、市町村、商店街等、地域における率先行動と積極的に協働。

- 「公用車のエコ化」推進プロジェクト
- 「県有施設のエコ化」推進プロジェクト
- 「クリーンエネルギー普及促進加速化」プロジェクト
- 「住宅用太陽光発電普及促進」プロジェクト
- 「民生用燃料電池普及促進」プロジェクト
- 「業務用トラック等「エコ化」促進プロジェクト」
- 「県内工場・事業所「太陽光発電普及促進」プロジェクト」
- 「クリーンエネルギー製品導入促進」プロジェクト
- 「ソーラー電牧普及活用支援プロジェクト」
- 「木質バイオマス利活用プロジェクト」
- 「くろかわ地域循環圏」クリーンエネルギー実証プロジェクト
- 「地域まるごとエコ化」支援
- 「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」プロジェクト

取組3 クリーンエネルギー社会の 明日を開拓する “先駆け”プラン

- ◆全国に先駆けて次々に“挑戦する”
産学官連携や商社・企業等との協働によって、クリーンエネルギーの利活用方法等を開拓、広げていくために、先導的なプロジェクトにも積極果敢に挑戦。

- 「県内事業所エコ化・コスト削減」特別支援プロジェクト
- 「県内版排出量取引制度」創設プロジェクト
- 「分散型エネルギーモデルタウン」プロジェクト
- 「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」プロジェクト

取組4 クリーンエネルギー社会の 未来を育む “架け橋”プラン

- ◆未来に繋がる賑わいを“創出する”
クリーンエネルギー社会の実現に向けて、夢ある取組や学校教育との連携を推進し、未来に繋がる賑わいを積極的に創出。

- 「クリーンエネルギー・ハウス」の創設
- 「クリーンエネルギー」をキーワードにした体験・学習機会等の創出・推進
- 電気自動車等の競技会等の本県への誘致、支援
- 「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」プロジェクト